

松前駅界隈ええとこめぐり II

松前中学校の校門を入ると、正岡子規の「五月雨や漁婦ぬれて行くかかへ帯」の句碑がある。県道を挟んで正門の北側に「初鷄も知るや義農の米の恩」と「五郎櫃(※)を追ひかけて行く蜻蛉哉」の2基がある。

中学校から西へ進み、商工会館南側の斜めの道に入る。開通当時の松前駅舎は、昔の砥部道に沿って、現在の駅舎の東側に、東向きにあった。

近代化遺産活用アドバイザーの岡崎直司氏は、『まちづくりアーカイブズ』(愛媛新聞社刊)で「木造駅舎として貴重なのが郡中線の松前駅。詳細な記録がないが、南予鉄道敷設時代の可能性がある。入り口の両側の支柱は上部が寺社によく見られる斗組みで、下部は近代仕様の角柱。まさに時代の混沌を象徴している」と述べ、さらに「この柱は、1本の角材から削り出されている。駅舎内の天井は高く、しっくい固められシャンデリア(灯油のランプか)があったと思われる。待合の椅子なども明治の雰囲気を残していたが、伊予鉄道の駅舎遺構群は個性豊かに全てが違う形と印象がある」とも述べているように、統一規格はなく棟梁の工夫と地元の意向

が認められたのだろう。

松前町は、町の玄関口として松前駅前から義農公園へのエリアを整備する計画を進めている。道幅も広がり大いに期待している。松前駅の思い出を残してほしいと思う。一行は、義農公園に移動し、作兵衛さんの遺徳をしのび歴史散歩を終えた。(鷺野共次郎記)

※ 子規の詠んだ「五郎櫃」は、正しくは「御用櫃」と書き、「ごろびつ」といわれていたことから、子規が耳にしたとお書き留めたものと思われる。

【参考文献】岡崎直司『まちづくりアーカイブズ』愛媛新聞社 2016年



1 松前駅
かつては正面左手に売店があり、朝の通勤時間帯には駅から東へまで社員の列が続いたという



2 義農作兵衛之像
義農作兵衛として松前町民に焼き付いている銅像は、昭和33年、現東温市下林出身の彫刻家越智綱雄の制作。越智綱雄は、伊勢神宮内天照大神像や靖国神社狛犬像など多くの作品を遺している

12月9日(土)の歴史散歩は、JR北伊予駅東側界隈を訪ねます。8時30分に松前庁舎南駐車場を出発。申し込みは麻生まで。

松前史談会(麻生) ☎ 090-4472-8136

【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日
◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398



西公民館

毎月順番に活動内容をお届け!

「親子スポーツ大会」開催



④グラウンドゴルフ。みんなが一打に注目
⑤白熱した試合が行われたボッチャ。最後は全員で点数を確認

10月9日、松前小学校で、松前校区青少年育成会主催の「親子スポーツ大会」が行われ、松前校区の親子約80人が参加しました。参加者は、グラウンドゴルフと、ボッチャに分かれ、熱い戦いを繰り広げました。試合結果は次のとおりです。

▶グラウンドゴルフ
【優勝】 宗意原 A 【準優勝】 宗意原 B

▶ボッチャ
【優勝】 本村 【準優勝】 筒井
※ ボッチャとは、自分のチームのボール(赤色か青色)を投げて、白色のボールにこどわだけ近付けることができるかを競う大人から子どもまで楽しめるスポーツ。

Let's Enjoy Books

ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時
◆問い合わせ ☎ 985-4140 FAX 985-1386
https://www.i-masaki.jp/library/
◆年末年始の休館 28日(土)～1月4日(土)

おはなし会
16日(土)
11時～
文化センター
2階ふるさと学習室

◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶君を恋ふらん
源氏物語アンソロジー
澤田瞳子他・著
KADOKAWA



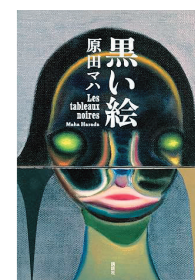
源氏物語や作者・紫式部の周辺を描いた物語など、令和6年の大河ドラマに先駆けて楽しめる。歴史小説の名手たちが織りなす、源氏物語の華やかな世界を描くアンソロジー

▶アミュレット・ホテル
方丈貫恵・著
光文社



二つのルールさえ守ればどんなものや情報でも手に入る、犯罪者御用達のホテル。警察の捜査は一切入らないが、ルールを破ればホテル探偵が独自の捜査で犯人を追い詰める

▶黒い絵
原田マハ・著
講談社



真っ暗な押し入れの中でだけ安息を得られる高校生、7年間の不倫を清算した2人、目撃した残酷な復讐…。人間のどろどろとした欲と野望とアートを融合させて描いた六つの短編集

▶めざせ!ムシヨランミツ星
黒柳桂子・著
朝日新聞出版



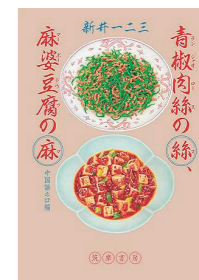
「クサイメシ」と言われる刑務所の食事を作っているのは実は受刑者自身。「刑務所の食」という切り口から、罪を償った人がまっとうに生きていけるようにという筆者の願いが込められた1冊

▶もっと知りたいクリスマス
ジョージ・グッドウィン・著
原書房



クリスマスはいつからあるの?サンタやツリーの起源、赤鼻のルドルフの秘密など、大人も子どももみんなが知りたいクリスマストリビアをイラストと共に解説

▶青椒肉絲の絲、麻婆豆腐の麻
新井一二三・著
筑摩書房



本場中華を「ことば」を切り口に読み解く。拉麺の「拉」の本来の意味とは?定番中華から現地でしか食べられない幻の一品まで、知的好奇心とお腹が刺激される中国美食エッセイ